

今年も和やかな表情で高齢者大学を受講する守田綾子さん92歳。昭和55年ごろから公民館教室に参加し、金田の生きがい健康教室には開設時から足を運び続けています。これまで、趣味の枠と交友の輪を広げ、高齢者大学を生きがいに日々を送ってきました。「教室ではみなさんがよくしていただき、応援してくれます。元気でいられるのは教室のおかげ。毎年感じるのですが、木曜日が待ち遠しい」と満面の笑みを浮かべま

高齢者大学最高齢の92歳
守田 綾子 さん (金田)

した。守田さんにとって「来年もまた元気に来てほしい」という言葉が心の支え。毎年開講日に合わせて体調を管理しています。「夫を亡くしたさみしさをなくさめてくれたのも、今を生きる励みを与えるのもこの高齢者大学。習うこと、ふれあうことで癒されます。おかげで毎日が楽しい」。その表情に表れているように、たくさんの思い出と作品に囲まれながら、守田さんのシルバークライフは今もお充実し続けています。

金田体育館ができた当初に習っていたという水墨画。お気に入りの「ほおずき」の絵を手に。



いついつまでも生涯学習 ——楽しく学び続ける、という喜び。

生きがいづくりは幸せづくり。生きがいをもちつことは大きな幸せです。自分が好きなものややりたいこと、幸福感を得られるものが、生きがいと呼べるのではないのでしょうか。それは例えば、一日の終わりにビールを飲む瞬間であったり、子どもの寝顔を見て心穏やかに…。というような小さなものから、人生を掛けるに値する大きなものまで、幅広く含まれます。生きがいは、夢や目標であったり、人の役に立っていることであったり、自分を活かせることや充実感を感じられることなどさまざま。知る喜び、考える喜び、感動する喜び、出会う喜び。それらを感じとれる心を自分もてるからでもないか大切にしていきたいです。

そこで、生きがいを感ずるなら、より大きなものの方がいいですね。町の公民館や文化連盟の教室では、多種多様な生涯学習の機会が設けられています。「生涯学習」とは、生きがいのある、充実した人生を送るために自分から進んで行う学習のこと。文化、スポーツ、趣味、ボランティア活動など、自分の生活や生き方を楽しく、豊かにするための活動です。

特集 生きがい

ですから、自分で選んで、自分のペースで学ぶ、自分のための学習と言えます。

学校での勉強だけではなく、生涯そのものが学習の舞台。心の豊かさ、すなわち、生活の楽しみや生きがいを求める学習や活動が、今の時代、とても大切になってきました。社会の動きに合わせて情報を取り込み、身につけていくことも必要になっていきます。今後、団塊の世代のみなさんは特に、与えられた時間を自分のためにどう使うかが、第二の人生を位置づけていくことでしょう。

生きがいの場にしませんか。

【文連盟加盟団体募集】 福智町文化連盟では、町内の加盟団体を募集しています。加入負担金は年額3千円、5人以下の団体は1人あたり5百円です。教育委員会にある届書に必要事項を明記のうえ申請してください。詳細はお問い合わせください。

▶なお、文化連盟加盟団体に参加を希望されるかたへの教室紹介も行っています。こちらも、お気軽にお問い合わせください。

☎ 福智町文化連盟事務局 (教育委員会生涯学習係) ☎ 28-2046

【高齢者大学受講受付】 高齢者大学の受講も受け付けます。受講料は年額1千円。教室の確認など事前にお問い合わせください。

☎ 福智町中央公民館 公民館係 ☎ 28-4100

そこで出会った生きがいが、好きなことや楽しめることであればなお幸せ。生涯にわたって楽しく学ぶ「生涯学習」というより「生涯学習」的な感覚で、のぞいてみてはいかがでしょう。もしかしら、あなたの人生を変えらるきっかけになるかもしれませんよ。



↑ 高齢者大学では数年前から歌謡を選択。「人前で歌ったことがなかったので心配でしたが、今は楽しくしようがありません」と守田さん。



↑ これまで、三味線、水画、陶芸、日本舞踊、園芸、社交ダンス、健康体操、歌謡と、趣味や学習の枠を広げてきた守田さん。手作りの作品には当時の思い出が詰まっています。